

平成 30 年度電源立地地域対策交付金の活用 (農業試験分析機器等の整備)

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備や企業の産業関連技術の振興のための事業に対して交付金を交付することで、発電用施設の整備に係る地元の理解促進等を図ることを目的としています。

平成 30 年度はこの交付金を活用して、農林水産研究所花き研究指導室において、次の機器を導入しました。

蒸気土壤消毒機 (花き研究指導室)

花き栽培試験は限られたハウスにおいて連作を行うため、特定の病原菌や害虫の発生により欠株を招き、正確性を欠く場合があります。このため、正確な結果を得るためには、土壤消毒を行い、病原菌や害虫を、殺菌・殺虫する必要があります。

花き研究指導室では、花きの高品質安定生産栽培技術の確立を行うこととしており、蒸気土壤消毒機の導入により、県作出の新品種デルフィニウム‘さくらひめ’を初めとし花木類等花きの生産技術の確立を行います。

